

2017(平成29)年度 第33期事業報告書

自 2017(平成29)年4月1日
至 2018(平成30)年3月31日

公益財団法人 日中医学協会

はじめに

2017年度の重要課題の一つが日中笹川医学奨学金第五次制度の研究者（学位取得コース10名、共同研究コース20名）の募集と選考でありました。第五次制度は日中医学交流の新しい形を目指し、これまでの制度と異なる全く新しい制度として実施するものであり、対応する委員会等も改編し、適切な研究先が確保できるよう体制を固めて事業を進めました。両コースそれぞれ10名と20名が合格し、2018年度の実施においては、制度の理念通りに運営ができるが問われます。

2015年から実施してきた「日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト」は、2017年度で第一次プロジェクト通算5期を7月に終了いたしました。8月に北京で総括会議を開催し、その評価を踏まえて、2018年度は第2次プロジェクトとして検討を進めて参ります。本プロジェクトを通じて、「がんの早期発見、早期治療」により、中国における5年生存率等の向上に寄与することが期待されます。

学術会議開催においては、2016年度の「日中医学学術交流大会 2016 東京」（日中笹川医学奨学金制度発足30周年記念事業）に続き、日中医学交流会議を2018年1月11日に「日中医学交流会議 2018 北京」を開催しました。生活習慣病：日中における現状と対策を主題にシンポジウムを行い、「日中両国専門家の共同による生活習慣病に取り組む北京宣言」を取り纏めることができました。当協会において伝統的なこの学術会議を継続できるよう検討を進めます。

医療協力事業については、笹川医学奨学金進修生同学会事業（笹川同学会事業）が2017年度を以って第四次制度が終了しました。2018年度からは第五次制度として（1）短期診療技術・技能研修、（2）日中共同フォーラム、（3）地域医療支援活動、（4）支部学術会議の4事業を新たにします。この4事業は、中国全土の医療サービス体制整備の一環として、医療先進課題に係わる同学会モデルの構築にトライアルするものであります。時代が日中の新たな協力関係を求めており、単なる友好交流でなく、協会が今後どのように事業展開していくか。あるべき姿をどうするか。目標値等を設定して、笹川同学会事業の成果が測れるよう協力して参ります。

2017年度を総括すれば、ほぼ計画通りに事業を実施することができました。

情報発信力を高めつつサービス向上に努め、2018年度も当協会の飛躍に向けて鋭意努力してまいりますので、役員はじめ産学官民各方面の皆様には、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

2017年度事業計画に従い、当法人の事業、ア研究助成事業、イ学術会議開催事業、ウ医療協力事業、エ広報事業は、ほぼ計画通り実施された。詳細は附属明細書に記した。

重要な成果

① 日中笹川医学奨学金制度（第五次制度）の募集と選考

2017年2月17日、日本財団(尾形武寿理事長)、日中医学協会(小川秀興理事長)、中国国家衛生・計画生育委員会(崔麗副主任)が調印した協定に基づき、第五次制度(学位取得コース、共同研究コース)の募集と選考を行い、定員枠通り(学位取得コース10名、共同研究コース20名)の合格者を確定した。詳細は附属明細書に記した。

② 日中医学交流会議 2018 北京

——日中国交正常化45周年・日中平和友好条約40周年記念事業

——主題：生活習慣病：日中における現状と対策…国家レベルとしての取組み

2018年1月11日、北京市の人衛飯店に於いて「日中医学交流会議 2018 北京」を開催した。日本と中国の糖尿病、動脈硬化症、認知症の専門家が講演し、日中両国の専門家が共同で生活習慣病の取組みについて〈北京宣言〉を発表した。

詳細は附属明細書に記した。

③ 日中医学交流フォーラム

消化器と泌尿器の2領域において手術映像ライブ配信と学術セミナーを順天堂大学で開催した。

詳細は附属明細書に記した。

④ 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト（第5期）及び第一次プロジェクト（第1期～第5期）総括会議の実施

詳細は附属明細書に記した。

計画の未達

医療協力事業6分類（19事業）の内、17事業を実施し、下記事業が計画の未達となった。

① 医療関連訪日団等招請：中国病院長病院管理訪日研修事業

——中国側事業者が事業採択されなかったことによる。

② 訪中団派遣事業

——会員及び任意の医療機関・団体等からの提案もなく募集しなかった。

※ 日本式医療の拠点化に向けた事業性調査（経済産業省の事業等）は、「生活習慣病の予防と治療に関する日本式医療の試行プログラム」についてパイロットスタディ中であり、実施には至っていない。2018年度に事業継続の可否を検討する。

決算概要

会計別	予算額 円	決算額 円	達成率 %
公益会計	123,881,000	130,346,096	105.2%
法人会計	9,150,000	8,837,697	96.6%

(2) 資金調達等の状況

主な事業収益	①日本財団助成金	94,210千円
	②事業収益/寄附金	31,098千円

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

区 分	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
一般正味財産経常収益	121,702,658	144,158,368	194,547,690	139,183,793
同評価損益等調整前当期経常増減額	-2,069,743	-3,713,306	1,915,895	-16,794,999
同当期経常増減額	-2,069,743	-3,713,306	1,915,895	-16,794,999
同当期経常外増減額	—	3,938,259	—	—
指定正味財産増減額	21,202,199	-14,804,098	4,598,101	-1,800,000
正味財産期末残高	363,800,903	349,221,758	346,539,552	327,944,553

(4) 主要な事業内容

事業	主な事業の内容
研究助成	<p>①日中笹川医学奨学金制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次第39期生, 24名 2017年4月12日研究者認定式、10月12日研究者セミナー開催 2018年3月29日研究報告会/修了式 ・第5次第40期生, 2018年度来日の募集/選考 学位取得コース10名、共同研究コース20名 <p>②共同研究等助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・共同研究助成6件(基礎医学・薬学) ・若手在留中国人研究者助成2件(基礎医学) <p>③中国人医師・研究者招聘事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第5期実施及び第1~5期総括会議(北京)
学術会議開催	<p>①日中医学交流会議2018北京</p> <ul style="list-style-type: none"> ——日中国交正常化45周年・日中平和友好条約40周年記念事業 <p>②第4回日中医学交流フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ——消化器フォーラム(主催)11月30日 順天堂大学 ——泌尿器フォーラム(主催)11月30日 順天堂大学 ——日中婦人科良性疾患交流サミット(協力)11月4日 北京市

	<p>③2017 年度医学生のための漢方医学セミナー（後援）</p> <p>④日本医療機器テクノロジー協会学術シンポジウム「CHINA-HOSPEQ 2017」（後援）</p>
医療協力	<p>①笹川医学奨学金進修生同学会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国国内研修事業： <ul style="list-style-type: none"> ——①短期総合診療研修、②短期診療技術・技能研修（6 事業）、③中長期臨床研修（6 病院、レジデント 13 名） ・ボランティア診療（陝西省扶風県人民医院） ・健康講座・相談会：東京、横浜、明石 ・支部学術会議（華東地区等 8 支部） <p>③専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笹川医学奨学金進修生同学会事業 7 名、日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修 4 名、日中医学交流フォーラム 3 名、その他 2 名 <p>④医療関連訪日団等招請事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(国研)科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」（さくらサイエンスプラン）による中国行政官招請への参画 ・医療関連訪日団招請： <ul style="list-style-type: none"> 第 60 回糖尿病学会年次学術集会参加訪日団等 15 件 <p>⑤中国国家衛生・計画生育委員会副主任訪日団への協力</p>
広 報	<p>①機関誌『日中医学』の発行（第 32 巻 1～4 号）</p> <p>②ホームページのリニューアル</p>

(5) 会員に関する事項

種 類	当年期初 名	当期末 名	増 減 %
名誉会員	8 名	8 名	100 %
個人会員	525 名	531 名	101 %
法人会員	76 社	74 社	97 %
特別会員	4 社	4 社	100 %

※ 会員規程第 9 条第 2 項に基づき、2015 年度から 3 年間会費未納の者（法人を含む）は、2018 年 3 月 31 日をもって退会扱いとした。

(6) 職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	本田 伸吾	2012 年 5 月 1 日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	岡田 光子	2013 年 4 月 1 日	事務局事務の管理・運営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
一般職員	末原 珠生 太田 晶子		事務局事務（事業全般）	

嘱託職員	4 名		事務局事務	内、産休 1 名
派遣職員	1 名		事務局事務	産休代替

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2017.05.23	公益第 15 回理事会 2016 年度事業報告の件 2016 年度決算報告の件 公益第 8 回定時評議員会の招集の件 日中国交正常化 45 周年記念事業の件 就業規則改定の件 委員会の改編及び委員の改選について	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2017.06.07	公益第 16 回理事会（臨時） 代表理事（会長、理事長）の選定の件 業務執行理事の選定の件 副会長、顧問の選任の件 委員会規程改定の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2017.08.15	公益第 17 回理事会（みなし決議） 評議員の退任に伴う補欠選任候補者の推薦の件 理事の補欠選任候補者の推薦の件 副会長の退任に伴う補欠選任の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2017.12.07	公益第 18 回理事会（臨時） 委員会委員の補欠選任の件 2017 年度職務執行状況の報告ほか	全員一致可決
2018.03.08	公益第 19 回理事会 2018 年度事業計画(案)の件 2018 年度収支予算(案)の件 事務局規程（育児・介護休暇規則、就業規則）改定の件 謝金支給規程改定の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

② 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2017.06.07	公益第 8 回定時評議員会 <u>決議事項</u> 2016 年度計算書類（決算報告）の承認の件 理事の選任の件 監事の選任の件 評議員の選任の件 旅費交通費規程改定の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

	<u>報告事項</u> 2016 年度事業報告の内容報告の件 2017 年度事業計画、収支予算の内容報告の件 職務執行状況の報告の件	
2017.08.28	公益第 9 回評議員会（みなし決議） <u>決議事項</u> 評議員の退任に伴う補欠選任の件 理事の補欠選任の件	全員一致可決 全員一致可決

(8) 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備考
該当事項なし			

(9) 対処すべき課題

- 1 日本財団の助成事業「日中笹川医学協力プロジェクト——日中笹川医学奨学金制度」は、第五次制度（学位取得コース、共同研究コース）の募集と選考を行い、定員枠通り（学位取得コース 10 名、共同研究コース 20 名）の合格者を確定した。これまでの制度と異なる全く新しい制度として実施するものであり、円滑に実施するための対応が問われる。
- 2 学術会議の主催事業は、「日中医学交流会議 2018 北京（2018 年 1 月 11 日開催）」に続き、「日中医学交流会議 2019 東京」が計画されている。主題の細部等の企画立案が急がれる。
- 3 医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）について、日本式医療の中国における拠点化に向けた事業推進が求められている。

対処方針

- 1 2018 年度は、事業実施（第 40 期研究者）に伴い発生する課題や問題点をひとつずつ丁寧につぶしていくよう事務局体制も一新して取り組む。
また、第 41 期研究者の募集と選考に当たり、より改善した応募書式を用意して行う。
- 2 日本医師会・日本財団等の協力を得て、日本の強みを活かした企画により、中華医学会との協働事業を推進する。
- 3 2017 年度で「日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト（第 1 期～5 期）」の第 1 次プロジェクトが終了した。2018 年度は、第 2 次プロジェクトとして、より深化した事業を展開し、中国における日本式医療の拠点拡大を目指す。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
会長	高久 史磨	2019.03.31	非常勤	48千円	地域医療振興協会会長
理事長	小川 秀興	〃	〃	48千円	順天堂理事長
副会長・理事	安達 勇	〃	〃	48千円	
業務執行理事	跡見 裕	〃	〃	48千円	
	新井 一	〃	〃	36千円	
	春日 雅人	〃	〃	48千円	
	日比 紀文	〃	〃	48千円	
理事	池谷 田鶴子	〃	〃	48千円	
	尾身 茂	〃	〃	24千円	地域医療機能推進機構 理事長
	木村 政之	〃	〃	36千円	日本製薬団体連合会理事長
	近藤 達也	〃	〃	—	医薬品医療機器総合機構 理事長
	庄田 隆	〃	〃	48千円	
	住友 雅人	〃	〃	24千円	日本歯科医学会連合 理事長
	手代木 功	〃	〃	12千円	塩野義製薬株式会社 代表取締役社長
	林 謙治	〃	〃	48千円	
	林崎 良英	〃	〃	36千円	
	平岡 眞寛	〃	〃	24千円	
	堀田 知光	〃	〃	36千円	
	松原 謙二	〃	〃	—	
三宅 養三	〃	〃	48千円	愛知医科大学理事長	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

退任理事	江藤 一洋	2017.06.07	〃	12千円	
------	-------	------------	---	------	--

注) 第15回理事会(2016年度事業報告、決算報告)への出席手当

(2) 監事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	金井 淨	2021.03.31	非常勤	48千円	
	小野 喜志雄	2019.03.31	〃	48千円	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

退任監事	星合 昊	2017.06.07	〃	24千円	
------	------	------------	---	------	--

注) 第15回理事会・第8回評議員会(2016年度事業報告、決算報告)への出席手当

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
評議員	石館 光三	2021. 03. 31	〃	12 千円	
	一戸 達也	〃	〃	12 千円	
	緒方 剛	〃	〃	—	
	緒方 晴彦	〃	〃	—	
	加藤 照和	〃	〃	—	株式会社ツムラ代表取締役社長
	菊池 令子	〃	〃	—	
	小林 慶太	〃	〃	—	
	杉山 清	〃	〃	12 千円	
	曾根 智史	〃	〃	—	
	高橋 和久	〃	〃	—	
	高松 研	〃	〃	12 千円	
	田平 武	〃	〃	—	
	寺本 明	〃	〃	12 千円	
	根本 則道	〃	〃	12 千円	
	範 江林	〃	〃	—	
	松本 謙一	〃	〃	—	サクラグローバルホールディングス 代表取締役会長
	道永 麻理	〃	〃	12 千円	
	三村 孝仁	〃	〃	—	テルモ株式会社代表取締役会長
	山口 建	〃	〃	—	静岡県立静岡がんセンター総長
山田 陽城	〃	〃	12 千円		
渡邊 和久	〃	〃	—		

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

退任評議員	池田 裕	2017. 06. 07	〃	12 千円	
	稲葉 裕	〃	〃	12 千円	

注) 第 8 回評議員会 (2016 年度事業報告、決算報告) への出席手当

(4) 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	21 名	720 千円	退任理事 1 名を含む
監事	3 名	120 千円	退任監事 1 名を含む
評議員	23 名	120 千円	退任評議員 2 名を含む

3. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

委員会の改編に伴い「業務執行理事の分担執行に係る業務分担基準」を改定した。

2017年度事業報告書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2018年5月22日
発行人 小川 秀興

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3 住泉KMビル 6階